

新小山市市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.38

1 病院長挨拶 ～ これまでの10年、これからの10年 ～

新小山市市民病院は、経営形態を地方独立行政法人として再出発してから今年で10周年を迎えました。この間、計画通りに、新築移転し、文字通り”独立経営”に移行しました。10周年に華を添えるように、自治体立優良病院表彰を受賞するというオマケまでつきました。目標が達成できた理由は、端的にいうと、市民病院が「この時代、この地域に合った病院」になれたからだと思います。3次医療の大学病院と一次医療の地域医療機関の間にある2次医療の急性期病院の役割を本院が果たした結果です。それを可能にするために、病院スタッフを確保し、病院のパーパス（存在価値）を職員が共有し、地域としっかり連携し、そしてそれらを実行する病院の運営体制を構築してきました。

それでは、これからの10年はどうなるのか？高齢化はさらに進みますが、既に日本全体の人口は減少局面に入っており、日本の各地で患者減少が始まっています。県南地域では暫くは患者増が続く見込みです。そこへ地域医療構想（病院機能分化）や働き方改革などで、従来の医療提供体制が“リセット”されようとしています。その上にコロナショックが加わり、高度急性期医療の集約化も進もうとしています。300床という中規模病院の本院は、大規模病院と地域密着型小規模病院の狭間にあります。診療のレベルのさらなる向上を目指すとともに、自院の立ち位置をどこに置くか、地域の医療機関とのタッグの組み方が益々重要になる、これからの10年になると思います。

令和 4年 9月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田 和幸

2 TOPICS ～「全国自治体立優良病院会長表彰」を

受賞しました！

6月16日「令和4年度自治体立優良病院会長表彰」を受賞しました。

今回このような受賞ができましたことは、職員の努力のみならず、地域の医療機関をはじめ、多くの皆様のご支援、ご協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。今後もこれまで以上に、職員一丸となって努力して参ります。



目次:

病院長挨拶	1
新任医師紹介	2
学会参加報告	3
お知らせ	4

ハイライト

- 7月に入職しました高橋先生をご紹介します。
- 研修医が入職して半年が過ぎようとしています。彼らの近況を報告します。
- ドライブスルー検査での活動取組内容を報告させていただきます。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告をさせていただきます。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



(矢島)

第24回日本医療マネジメント学会での発表

看護部長 折笠 清美

2022年7月8日、9日と神戸で久しぶりに対面とWEBのハイブリットで開催された。

昨年に続き当院は、一般口演発表で採択された。テーマは一貫して当院の看護補助の質の向上と組織の一本化である。

2年前見学に行かせて頂いた長野県の相澤病院をお手本として、各病棟の看護補助の配置でなく、看護部全体の配置で、リリース体制から教育も含めた一本化を5年計画で進めている。当院の看護補助は2/3が派遣であり、そのリーダーを職員である介護福祉士達が担っている。看護補助達の質、量共の標準化が喫緊の課題である。2019年から始めたプロジェクトはまだ道半ばである。

しかし、最近院長は、「看護補助の質が上がってきた」と褒めて下さった。院長が学会のランチョンセミナーで発表されたコーチングをベースに、お互いを認め合いつつ、目標に向かって日々努力していきたい。

新型コロナウイルス感染症に対する当院の取組

2019年12月、中国から発生した新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こり、その対応に世界中が振り回され続け、今現在もその混乱は続いています。

当院は、栃木県からの委託を受けた、一般社団法人小山地区医師会が令和2年5月に開設した「地域外来・PCR検査センター」で行う、COVID-19のドライブスルー検査活動において、開始時より協力を依頼され、共に活動をしてきました。

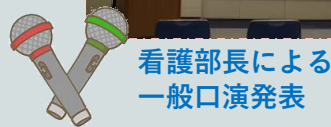
令和2年5月26日から始まり、令和4年6月24日に終了するまでの、毎週火曜金曜の週2回の活動で、検査実施日数は205日、受診者は3378名になりました。

当院から協力に出た看護師の合計人数は474人（令和2年度は233人、令和3年度は215人、令和4年度は26人）、臨床検査技師の合計人数は362人（令和2年度は122人、令和3年度は188人、令和4年度は52人）でした。

足掛け3年の間には、真夏の照り付ける太陽の下、N95マスクを着け、ガウンを着てのフルPPE装備で2時間近く、全く休憩を取らずに汗だくになって倒れそうになりながら検査を行った日や、真冬の雪の降る中、手の感覚が無くなるほどの寒さの中で検査を行った日もありました。本当に大変な日々でしたが、前小山地区医師会会長塚田先生はじめ、他多くの医師の方々のご協力をいただきながら乗り越えてくることができました。心より感謝申し上げます。

今後も「市民に信頼され、必要とされる、地域密着型の急性期中核病院」の役割を果たせるように活動して参りたいと思います。

院内感染対策室 感染制御実践看護師



看護部長による
一般口演発表



院長もランチョンセミナーで、組織マネジメントに関するコーチングの取り組みを発表



開催地神戸は、ご飯もおいしく、夜景もキレイでとても素敵な場所でした。

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

[https://www.facebook.com/shin.oya
ma.city.hospital](https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital)



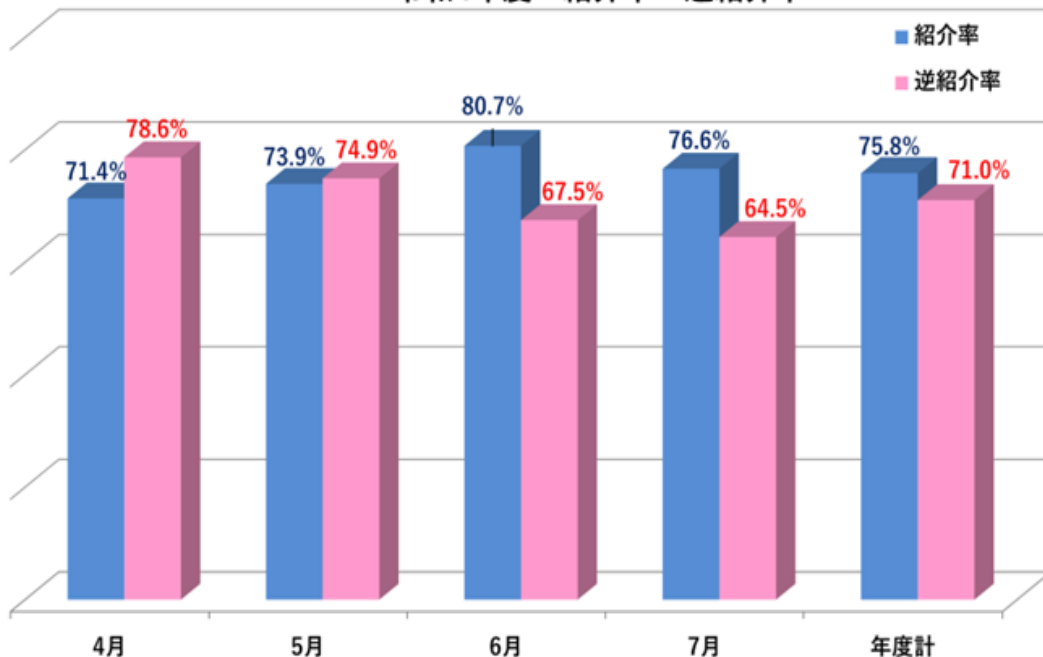
患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

コロナの影響で紹介患者数の減少もありますが、地域の先生方のご理解により年度累計では、7月時点紹介率75.8%となりました。

令和4年度 紹介率・逆紹介率



第37回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

第37回 地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーをWEBと会場でのハイブリッドで行いました。

～症例報告～ ご紹介いただいた患者さんの症例を報告致しました。

～質疑応答～ 症例報告後の質疑応答では、WEB参加者を含め様々な意見が交わされました。



- ・日時 7月21日(木) 19:15～
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 栗原副院長
- ・症例報告者
外科 千葉医師
形成外科 樋貝医師
小児科 峯村医師
- ・院外参加者 WEB 21名



次回 第38回地域完結型医療・連携の会
WEBライブセミナーは、
令和 4年 9月15日(木) 19:15～
消化器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科の
症例です。
皆様のご参加をお待ちしております。

会場とWEBでの質疑応答の
やり取りもスムーズに行わ
れています。